

令和7年3月31日

令和6年度の主な公益的取組等の実施状況

社会福祉法人つばさ福祉会

公益事業

令和6年度 父の夢日中ショートステイ事業報告書

障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業として「日中一時支援事業」を福島市、伊達市、二本松市より受託し「父の夢日中ショートステイ」として知的障がい児・者の方々が地域で生活しやすいように支援することを目的とし事業を行った。

今年度の新規契約者は、いなかった。現在の児童登録者は、男性が4名、女性が1名で昨年度と変わらず、その内、定期的な利用予定者は昨年同様、男性2名だった。知的障がい者では、父の夢利用者以外が1名で、朝の常時利用が4名、断続利用が2名、夕方の常時利用が11名、断続利用が5名だった。

利用中は利用者本人の希望する過ごし方を尊重し、本やテレビを見たり、持参したおやつを食べたりと利用者個々人が、思い思いに過ごすことができていた。今年度も昨年度同様、iPadを使用する利用者が多く、自分の興味のあるものを検索して見ている。

令和6年度 おおぞらの夢日中ショートステイ事業報告書

障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業として「日中一時支援事業」を福島市、伊達市より受託し「おおぞらの夢日中ショートステイ」として知的障がい児・者の方々が地域で生活しやすいように支援することを目的とし事業を行った。

活動内容として感染予防をしながら利用者本人の希望する過ごし方を尊重し、DVDを見たり、CDを聴いたり、持参したおやつを食べたりと個々人が、思い思いに過ごすことができていた。また、iPad等を使用する利用者が多くユーチューブなどで興味あるものを検索し鑑賞していた。

児童では、新規の登録者が1名増えた。また、者では全ておおぞらの夢、新おおぞらの夢、ニコの夢、カラーの夢の方で稼働時間外（8：00～9：00、15：30～18：30）の時間帯に利用が集中しているが、定員を6名に変更した為、安定したサービス提供が行えた。

令和6年度 レスパイト事業ブライトハウス事業報告書

レスパイトサービス「ブライトハウス」は法人独自の事業であり、地域の実情に応じた福祉サービスとして「地域における公益的な取組」（地域貢献活動）として位置付け支援を行った。

知的障がい児・者及びその家族に対して手軽に利用出来る支援サービスを行ない、障害福祉の増進・家庭生活の安定を目的とし運営してきた。支援サービス内容として国や市町村の福祉制度では満たせない福祉サービス（宿泊支援・日中支援）を行った。

令和6年度 県北障害者就業・生活支援センター事業報告書

国の委託事業（雇用安定等事業）及び県の委託事業（生活支援事業）として、一般就労を目指す障がい者を対象に就業支援員と生活支援員が地域の専門機関及び支援機関との連携の下、就業面及び生活面の一体的な支援を行った。（設置年数満15年・サポートセンターを含めると満18年）

令和6年度 相談支援事業所ステップアップつばさ事業報告書

障がい福祉サービス及び福祉行政の一端を担う機関として、公正かつ中立な事業を行った。

地域福祉を支える様々な関係機関、行政と連携を図り、障がいのある方が、地域で人権が護られたその人らしい生活を送ることができるように、包括的に解決すべき課題等を把握し、必要な支援を行った。